

2023年版 環境経営レポート



(高知県四万十町 仁井田谷川通常砂防工事)

発行年月日 2024年 10月 25日

有限会社 共栄建設

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日：2024年 10月 25日

発行責任者：環境管理責任者 正岡ほまれ

次回発行予定： 2025年 10月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 共栄建設

【代表者氏名】 代表取締役 正岡秀和

【所在地】

(本社) 〒786-0035 高知県高岡郡四万十町六反地247
(倉庫1) 高知県高岡郡四万十町六反地247
(倉庫2) 高知県高岡郡四万十町六反地字長山前40番1

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 取締役 正岡ほまれ

連絡先担当者

連絡先 TEL: 0880-22-8018
FAX: 0880-22-8459
E-mail: kyouei@shimanto.tv

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業 (主に土木工事業 とび・土工工事業を行っています)

建設業許可 高知県知事許可

許可番号 般2-1608号

許可年月日 令和2年4月22日

建設業の種類 建設業 (土木工事業 とび・土工工事業 造園工事業 管工事業)

【事業規模】

設立年月日 昭和 46年 9月 20日

資本金 5百万円

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高 (千円)	47,145	79,322	46,594	91,091	48,604
従業員数 (名)	8名	8名	8名	9名	9名
事業所敷地面積 (m ²)	40.6	40.6	40.6	40.6	40.6
事業所延べ床面積 (m ²)	359.8	359.8	359.8	359.8	359.8

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高 (千円)	37,717	66,726	85,488	87,521
従業員数 (名)	8名	8名	8名	8名
事業所敷地面積 (m ²)	40.6	40.6	40.6	40.6
事業所延べ床面積 (m ²)	359.8	359.8	359.8	359.8

従業員数は、6月 30日現在

会計年度 7月1日 ~ 6月30日

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 共栄建設 本社及び倉庫

(本社) 〒786-0035 高知県高岡郡四万十町六反地247

(倉庫1) 高知県高岡郡四万十町六反地247

(倉庫2) 高知県高岡郡四万十町六反地字長山前40番1

対象事業：

【レポートの対象期間】

2023年7月～2024年6月

【環境経営レポートの発行日】

2024年10月25日

【作成責任者】

環境管理責任者

正岡ほまれ

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社共栄建設は、高知県高岡郡四万十町で土木工事を主体とする建設工事業を営んでいます。自然豊かな四万十川流域で建設業に携わる一員として、次世代に安全で豊かな環境を残す為、事業活動に於いて、社員一同環境負荷の低減に努め、自然との共生を目指します。

【基本方針】

環境活動が与える環境負荷を低減する為に、下記の事項について取り組みます。

1. 建設機械・車両等の燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 事務所・建設現場における電力使用量削減により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 建設現場及び事務所における廃棄物の削減、建設副産物のリサイクルの推進を行います。
4. 水使用量の削減に努力します。
5. 事務用品のグリーン調達を推進を行います。
6. 環境関連法規等、条例を遵守します。
7. 環境経営方針は、広く従業員に周知徹底します。
8. 地域のボランティア活動等に積極的に参加します。
9. 環境経営レポートを作成し、公表します。
10. 建設工事の施工に当たっては、環境に配慮した工事を行うと共に、四万十川条例に基づき、流域の生態系の保全に努めます。
11. 環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

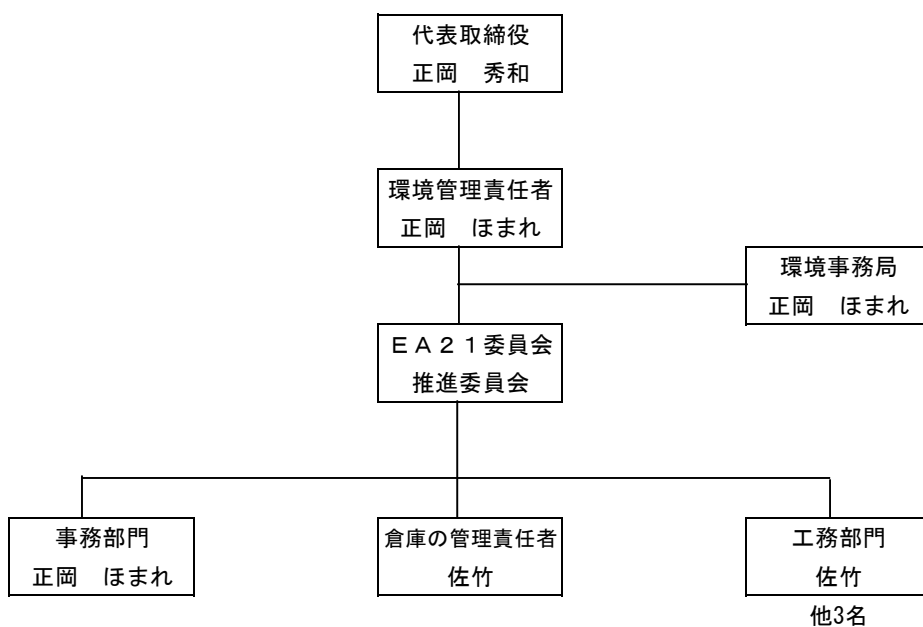
改定日：令和 元年 8月 1日

制定日：平成 22年 9月 21日

有限会社 共栄建設
代表取締役

正岡秀和

4. 環境経営組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション2.1ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- 燃料使用量の削減については、低騒音・排ガス対策型重機での施工、工期短縮を行いました。
- 電力使用量の削減については、身体に影響のない範囲で主をしめるエアコン使用の見直しを行いました。
- 環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（10回）、近隣の清掃活動（5回）実施しております。
- 環境負荷の少ない工事の実施では、発電機下にオイル吸着マットを使用、県内産資材や高知県産木材バリケードを使用しました。

<有限会社 共栄建設の物質フロー>（2023年度）



有限会社共栄建設のSDGsのつながり



6. 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準値	2023年度 目標 2023.7-2024.6
売上高		百万円	64.6	70
燃料使用量			21,371.2	
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,263.6	
	原単位	(ℓ/百万円)	112.4	112.4
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,954.0	
	原単位	(ℓ/百万円)	216.0	216.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	153.6	
	原単位	(ℓ/百万円)	2.4	2.4
電力使用量	総量	(kWh)	3,497.3	
	原単位	(kWh/百万円)	54.1	54.1
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	54,991.5	
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	851.3	851.3
用水使用量	総量	(m ³)	265.6	
	原単位	(m ³ /百万円)	4.1	4.1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	50.0	
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	96.8	
	原単位	(t/百万円)	1.5	1.5
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89.0	100.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5回	5回

*1. 基準値は過去の実績値から百万円当りの原単位を出して、売上高をかけて使用量を設定した。

ガソリン使用量の基準値は7年平均を使用した。

*2. 電力のCO₂排出量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2021年度実績)(令和5年1月24日公表)の(四国電力の調整後排出係数(0.532kg-CO₂/kWh))を使用した。

*3環境負荷の少ない工事

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 油流出対策で発電機下に吸着マット使用
- 濁水防止対策の実施
- 環境負荷の少ない材料を使用
- 工事中の騒音・粉塵対策の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	基準値	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	64.6	70	70	70
燃料使用量				基準値の10%以内を目標		
ガソリン使用量	総量	(ℓ)				
	原単位	(ℓ/百万円)	112.4	112.4	112.4	112.4
軽油使用量	総量	(ℓ)				
	原単位	(ℓ/百万円)	216.0	216.0	216.0	216.0
灯油使用量	総量	(ℓ)				
	原単位	(ℓ/百万円)	2.4	2.4	2.4	2.4
電力使用量	総量	(kWh)				
	原単位	(kWh/百万円)	54.1	54.1	54.1	54.1
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)				
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	851.3	851.3	851.3	851.3
用水使用量	総量	(m ³)				
	原単位	(m ³ /百万円)	4.1	4.1	4.1	4.1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)				
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)				
	原単位	(t/百万円)	1.5	1.5	1.5	1.5
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89.0	100.0	100.0	100.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5回	5回	5回	5回

7. 環境経営計画

期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量	○タイヤの空気圧チェックを定期的に行う	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
	削減	○過積載をせず、荷台に余計な荷物は載せない	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		○現場と倉庫に無駄な往復をしない 極力乗合せて移動する	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		○夏場の現場見回りはバイクで移動する	正岡	2024年6月
		○車のエコドライブの励行（急発進・急停止の禁止、アイドリングストップ）	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		○重機をフル回転しない、重機類のアイドリングストップ	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		○適切な工程管理により、工期短縮を目指す	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		○施工効率の良い資材を選択する	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		電力使用量	○昼休み、退出時の消灯	小野 正岡
	削減	○エアコンの定期的な清掃	小野 正岡	2024年6月
		○エアコンの安堵管理（夏場28℃ 冬場20℃推奨）	小野 正岡	2024年6月
		○蓄電池を利用して充電等行う	正岡	2024年6月
		用水使用量削減（排水量削減）	○こまめな止水を行う	小野 正岡 佐竹 小原 福井
	○雨水タンクを設置する	正岡	2024年6月	
廃棄物削減	一般廃棄物	○ミスコピーの削減（文章・計算の見直し等）	小野 正岡	2024年6月
		○ミスマッチ・使用済み封筒の裏面使用	小野 正岡	2024年6月
		○現場でのゴミの持帰りと分別の徹底	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		○ペットボトルのキャップを集め、回収ボックスへ	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
	産業廃棄物	○廃棄物の分別の徹底	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
		○マニフェスト伝票による管理	小野 正岡	2024年6月
		○再資源化業者に委託する	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月
環境負荷の少ない工事	○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
	○汚濁防止対策の実施	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
	○工事中の騒音、粉塵対策をする	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
	○油流出対策で発電機下に吸着マット使用	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
	○環境負荷の少ない材料を使用	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
環境美化活動	○倉庫周辺の町道の清掃（年5回以上）	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
	○現場周辺の町道の清掃（現場毎）	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
	○88フォーカへの参加	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	
	○四万十川一斉清掃への参加	正岡 佐竹 小原 福井	2024年6月	

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準値	2023年度	2023年度	実績値/目標値 (%)	評価
				目標 2023.7-2024.6	実績 2023.7-2024.6		
売上高		百万円	64.6	70	87		
燃料使用量			21,371.2		23,535.4		
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,263.6		8,945.2		
	原単位	(ℓ/百万円)	112.4	112.4	102.8	-8.5%	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,954.0		14,298.2		
	原単位	(ℓ/百万円)	216.0	216.0	164.3	-23.9%	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	153.6		292.0		
	原単位	(ℓ/百万円)	2.4	2.4	3.4	41.7%	×
電力使用量	総量	(kWh)	3,497.3		2,824.0		
	原単位	(kWh/百万円)	54.1	54.1	32.5	-39.9%	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	54,991.5		59,871.7		
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	851.3	851.3	688.2	-19.2%	○
用水使用量	総量	(m ³)	265.6		257.0		
	原単位	(m ³ /百万円)	4.1	4.1	3.0	-26.8%	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	50.0		25.5		
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8	0.3	-62.5%	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	96.8		157.2		
	原単位	(t/百万円)	1.5	1.5	1.8	20.0%	×
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89.0	100.0	100.0	0.0%	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0	17件/17件 100.0	100.0%	○
環境美化活動	総量	(回)	5回	5回	5回	100.0%	○

*1. 基準値は過去の実績値から百万円当りの原単位を出して、売上高をかけて使用量を設定した。ガソリン使用量の基準値は7年平均を使用した。

*2. 電力のCO₂排出量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2021年度実績)(令和5年1月24日公表)の

(四国電力の調整後排出係数(0.532kg-CO₂/kWh)を使用した。

*3. 環境負荷の少ない工事

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 濁水防止対策の実施
- 工事中の騒音・粉塵対策の実施
- 油流出対策で発電機下に吸着マット使用
- 環境負荷の少ない材料を使用

*4. 達成率：達成率={ (実績値/目標値)-1 }×100

*5. 評価は、「○」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

燃料使用量(灯油使用料)の未達成は、冬期の室内暖房に石油ストーブを使用した為ですが、その分エアコン使用量を抑えたので電気使用量は達成しました。

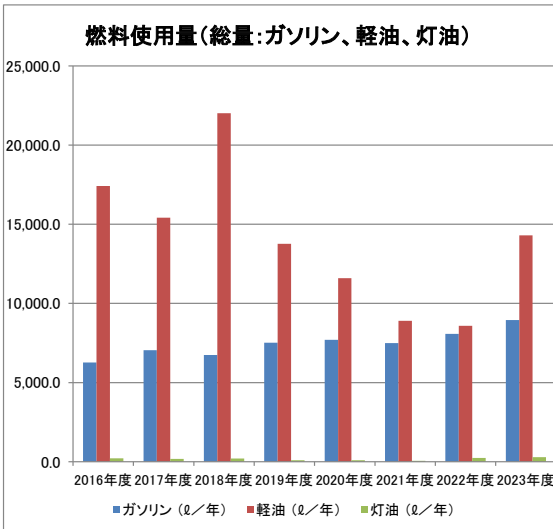
産業廃棄物排出量の未達成は、受注工事にコンクリート殻、アスファルト殻、伐採木が多かった為ですがリサイクルは100%できました。

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	基準値 2016~2022	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績
売上高		百万円	64.6	79	46	91	48	37	66	85
燃料使用量			21,371.2	23,895.6	22,640.6	28,972.2	21,370.9	19,381.5	16,445.1	16,891.8
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,263.6	6,265.8	7,046.7	6,746.1	7,518.2	7,702.2	7,489.4	8,076.6
	原単位	(ℓ/百万円)	112.4	79.3	153.2	74.1	156.6	208.2	113.5	95.0
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,954.0	17,415.8	15,413.9	22,019.1	13,762.7	11,589.3	8,895.7	8,581.2
	原単位	(ℓ/百万円)	216.0	220.5	335.1	242.0	286.7	313.2	134.8	101.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	153.6	214.0	180.0	207.0	90.0	90.0	60.0	234.0
	原単位	(ℓ/百万円)	2.4	2.7	3.9	2.3	1.9	2.4	0.9	2.8
電力使用量	総量	(kWh)	3,497.3	5,542.0	3,515.0	2,912.0	3,087.0	3,030.0	3,439.0	2,956.0
	原単位	(kWh/百万円)	54.1	70.2	76.4	32.0	64.3	81.9	52.1	34.8
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	54,991.5	62,918.3	57,737.8	74,524.8	54,816.3	49,605.5	42,305.3	43,032.6
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	851.3	796.4	1,255.2	819.0	1,142.0	1,340.7	641.0	506.3
用水使用量	総量	(m ³)	265.6	240.0	253.0	259.0	270.0	277.0	321.0	239.0
	原単位	(m ³ /百万円)	4.1	3.0	5.5	2.8	5.6	7.5	4.9	2.8
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	50.0	220.0	10.0	25.0	23.0	25.0	22.0	25.0
	原単位	(kg/百万円)	0.8	2.8	0.2	0.3	0.5	0.7	0.3	0.3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	96.8	266.1	50.5	55.6	26.0	81.6	14.9	182.6
	原単位	(t/百万円)	1.5	3.4	1.1	0.6	0.5	2.2	0.2	2.1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89.0	100.0	100.0	93.1	31.2	99.5	99.2	100.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	20/20	26/26	17/17	19/19	23/23	24/24	42/42
環境美化活動	総量	(回)	5回	5回	11回	8回	5回	5回	5回	5回

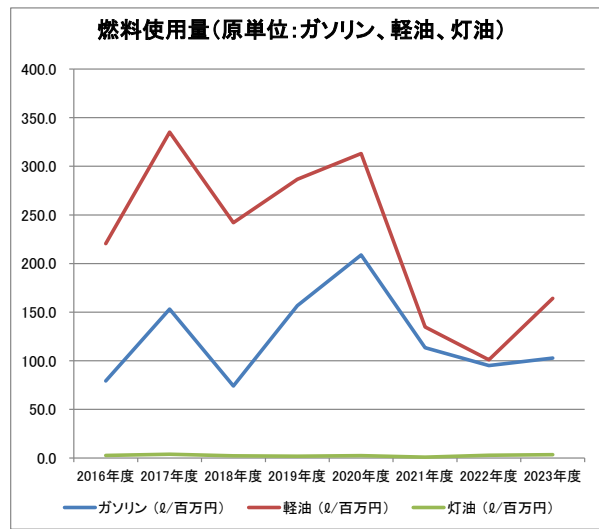
燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2016年度	6,265.8	17,415.8	214.0
2017年度	7,046.7	15,413.9	180.0
2018年度	6,746.1	22,019.1	207.0
2019年度	7,518.2	13,762.7	90.0
2020年度	7,702.2	11,589.3	90.0
2021年度	7,489.4	8,895.7	60.0
2022年度	8,076.6	8,581.2	234.0
2023年度	8,945.2	14,298.2	292.0



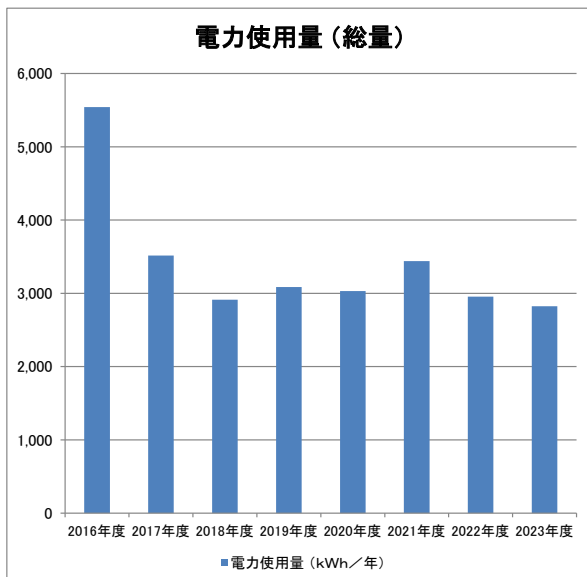
燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2016年度	79.3	220.5	2.7
2017年度	153.2	335.1	3.9
2018年度	74.1	242.0	2.3
2019年度	156.6	286.7	1.9
2020年度	208.2	313.2	2.4
2021年度	113.5	134.8	0.9
2022年度	95.0	101.0	2.8
2023年度	102.8	164.3	3.4



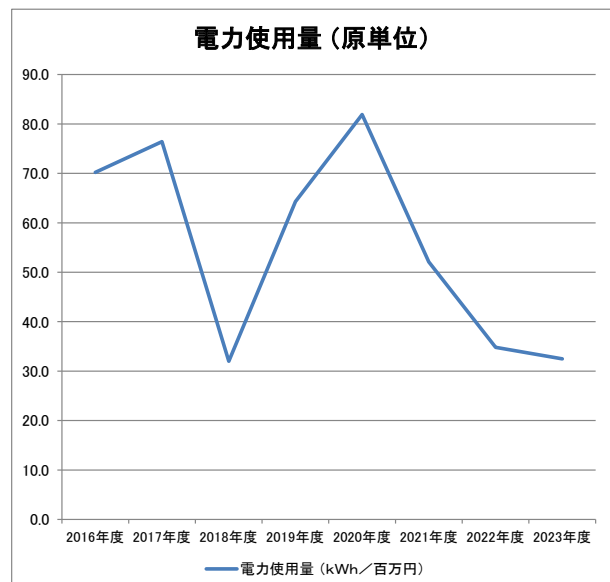
電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2016年度	5,542
2017年度	3,515
2018年度	2,912
2019年度	3,087
2020年度	3,030
2021年度	3,439
2022年度	2,956
2023年度	2,824



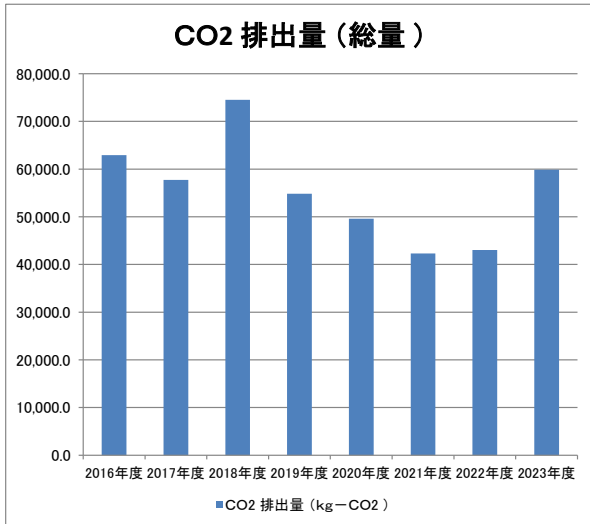
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2016年度	70.2
2017年度	76.4
2018年度	32.0
2019年度	64.3
2020年度	81.9
2021年度	52.1
2022年度	34.8
2023年度	32.5



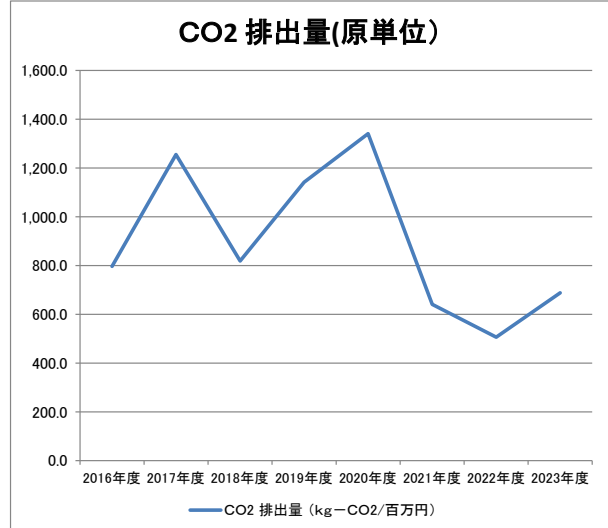
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2016年度	62,918.3
2017年度	57,737.8
2018年度	74,524.8
2019年度	54,816.3
2020年度	49,605.5
2021年度	42,305.3
2022年度	43,032.6
2023年度	59,871.7



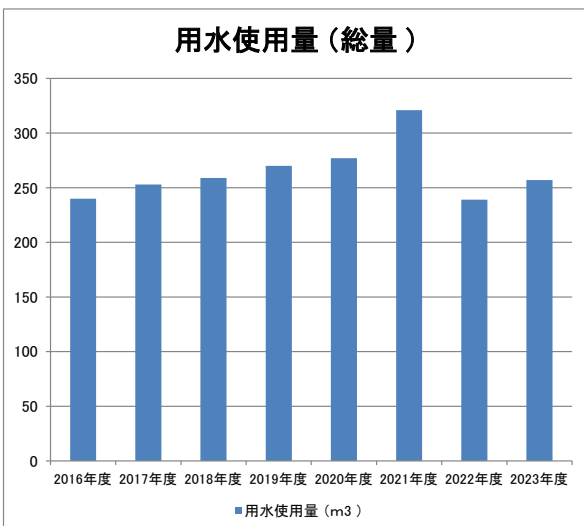
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2016年度	796.4
2017年度	1,255.2
2018年度	819.0
2019年度	1,142.0
2020年度	1,340.7
2021年度	641.0
2022年度	506.3
2023年度	688.2



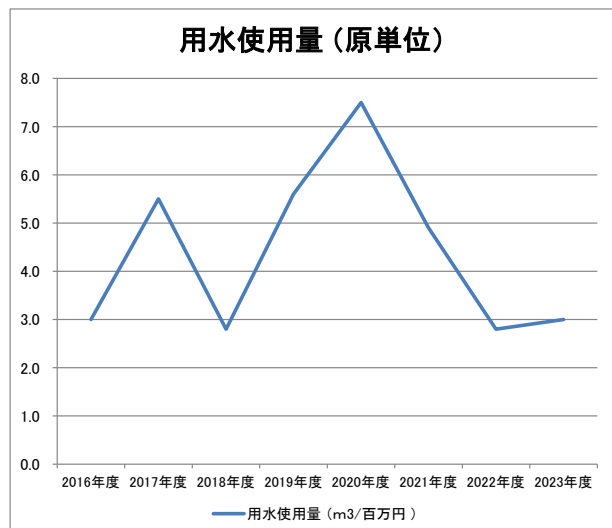
用水使用量 (総量 : m³)

年度	用水使用量 (m ³)
2016年度	240
2017年度	253
2018年度	259
2019年度	270
2020年度	277
2021年度	321
2022年度	239
2023年度	257



用水使用量 (原単位 : m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2016年度	3.0
2017年度	5.5
2018年度	2.8
2019年度	5.6
2020年度	7.5
2021年度	4.9
2022年度	2.8
2023年度	3.0



廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

単位:一般廃棄物 kg/年

単位:産業廃棄物 t/年

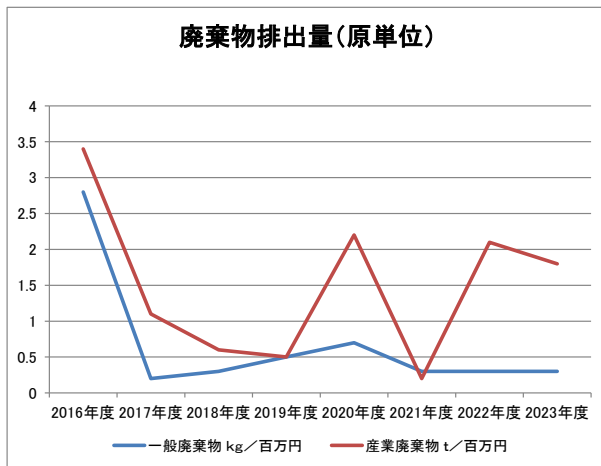
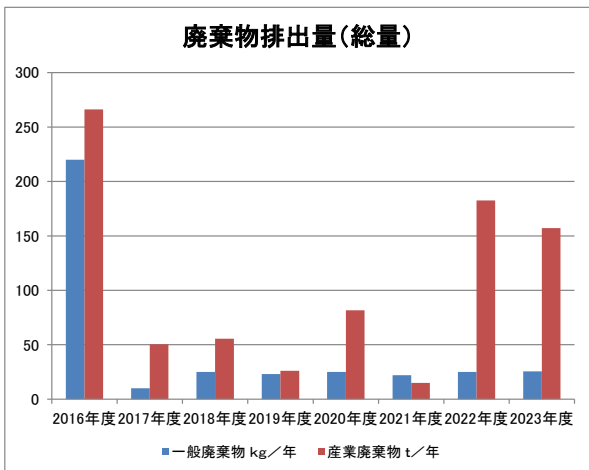
年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2016年度	220	266.1
2017年度	10	50.5
2018年度	25	55.6
2019年度	23	26.0
2020年度	25	81.6
2021年度	22	14.9
2022年度	25	182.6
2023年度	25.5	157.2

廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

単位:一般廃棄物 kg/百万円

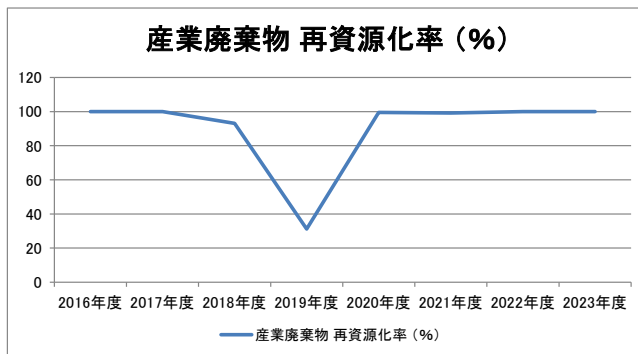
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2016年度	2.8	3.4
2017年度	0.2	1.1
2018年度	0.3	0.6
2019年度	0.5	0.5
2020年度	0.7	2.2
2021年度	0.3	0.2
2022年度	0.3	2.1
2023年度	0.3	1.8



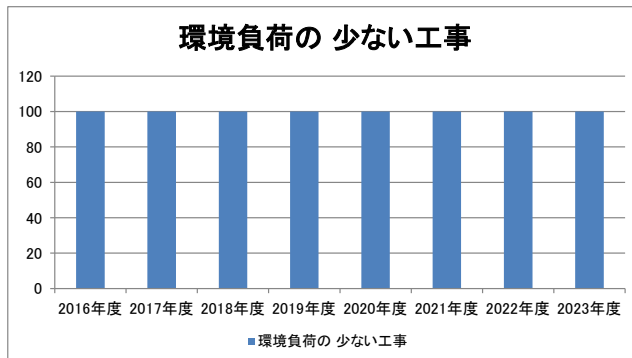
産業廃棄物再資源化率(%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2016年度	100
2017年度	100
2018年度	93.1
2019年度	31.2
2020年度	99.5
2021年度	99.2
2022年度	100
2023年度	100



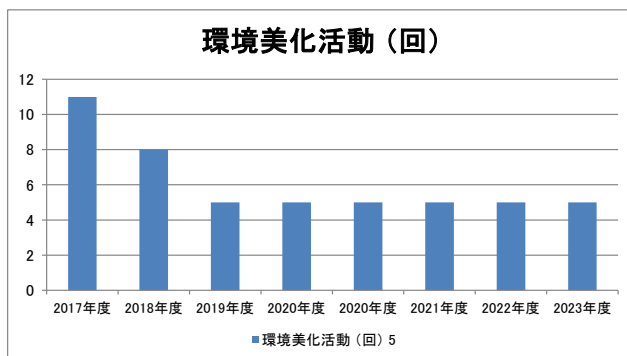
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の 少ない工事 (%)
2016年度	100
2017年度	100
2018年度	100
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2016年度	5
2017年度	11
2018年度	8
2019年度	5
2020年度	5
2020年度	5
2021年度	5
2022年度	5
2023年度	5



9. 環境経営計画の取組結果とその評価

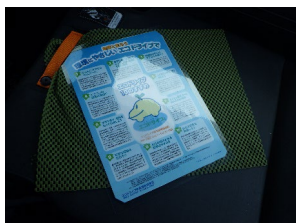
期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し		
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○タイヤの空気圧チェックを定期的に行う	○タイヤの空気圧チェックを定期的に行われている	○	点検日を定め、点検後記録を取っている		
		○過積載をせず、荷台に余計な荷物は載せない	○過積載をせず、荷台に余計な荷物は載せない	○	法令順守できている		
		○現場と倉庫に無駄な往復をしない 極力乗合せて移動する	○現場と倉庫に無駄な往復を少なく、極力乗合せて移動できた	○	今後も継続		
		○夏場の現場見回りはバイクで移動する	○夏場の現場見回りはバイクで移動することができた	○	今後も継続		
		○車のエコドライブの励行（急発進・急停止の禁止、アイドリングストップ）	○車のエコドライブの励行（急発進・急停止の禁止、アイドリングストップ）	○	今後も継続		
		○重機をフル回転しない、重機類のアイドリングストップ	○重機をフル回転しない、重機類のアイドリングストップ	○	今後も継続		
		○適切な工程管理により、工期短縮を目指す	○適切な工程管理により、工期短縮ができた	○	今後も継続		
		○施工効率の良い資材を選択する	○県内産資材や木材を使用した	○	受注工事によっては今後も継続		
	電力使用量 削減	○昼休み、退出時の消灯	○昼休み、退出時の消灯ができています	○	今後も継続		
		○エアコンの定期的な清掃	○エアコンの定期的な清掃を行っている	○	今後も継続		
		○エアコンの温度管理（夏場28℃ 冬場20℃推奨）	○エアコンの温度管理（夏場28℃ 冬場20℃推奨）できている	○	今後も継続		
		○蓄電池を利用して充電等行う	○蓄電池はソーラーパネルで充電し、他の充電等に使用	○	今後も継続		
		用水使用量削減（排水量削減）		○こまめな止水を行う	○こまめな止水を行っている	○	今後も継続
				○雨水タンクを設置する	○設置できなかった	×	次年度に設置できるようにする
廃棄物削減	一般廃棄物	○ミスビの削減（文章・計算の見直し等）	○ミスビの削減（文章・計算の見直し等）ができた	○	今後も継続		
		○ミスプリント・使用済み封筒の裏面使用	○ミスプリント・使用済み封筒の裏面使用をしている	○	今後も継続		
		○現場でのゴミの持帰りと分別の徹底	○現場でのゴミの持帰りと分別の徹底を行っている	○	今後も継続		
		○ペットボトルのキャップを集め、回収ボックスへ	○ペットボトルのキャップを集め、回収ボックスへリサイクルしている	○	今後も継続		
	産業廃棄物	○廃棄物の分別の徹底	○廃棄物の分別の徹底ができた	○	今後も継続		
		○マニフェスト伝票による管理	○マニフェスト伝票による管理ができた	○	今後も継続		
		○再資源化業者に委託する	○再資源化業者に委託している	○	今後も継続		
環境負荷の少ない工事		○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	○低騒音、排出ガス対策型機械の使用している	○	今後も継続		
		○汚濁防止対策の実施	○汚濁防止対策は沈砂池を設置した	○	今後も継続		
		○工事中の騒音、粉塵対策をする	○工事中の騒音、粉塵対策を行った	○	今後も継続		
		○油流出対策で発電機下に吸着マット使用	○油流出対策で発電機下に吸着マット使用した	○	今後も継続		
		○環境負荷の少ない材料を使用	○県内産資材や木材を使用した	○	今後も継続		
環境美化活動		○倉庫周辺の町道の清掃（年5回以上）	○倉庫周辺の町道の清掃（年5回以上）を行った	○	地域も高齢化が進み、除草すると喜んでもらえるので継続		
		○現場周辺の町道の清掃（現場毎）	○現場周辺の町道の清掃（現場毎）を行った	○	地域コミュニケーションとして今後も継続		
		○889号への参加	○889号へ参加した	○	今後も継続		
		○四万十川一斉清掃への参加	○四万十川一斉清掃へ参加した	○	今後も継続		

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



急発進・急加速・急停止の禁止

社用車内に「エコドライブ10のすすめ」を置き、燃料使用量削減の啓発を行っています。



重機の購入

2022年 10月に重機1台 超低騒音・排ガス対策型を購入しました。



(2) 電力使用量削減



本社事務所1階 LED照明設置

(2018年 4月設置)

本社事務所1階北側部分の照明(8本)を蛍光灯からLEDに更新しました。



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み(12時~13時)消灯し、節電に努めています。



本社事務所南側に緑のカーテン設置

(2013年 7月設置)

本社事務所南側に緑のカーテンを設置し、冷房負荷の削減に努めています。



2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

(2011年 2月設置)

本社事務所内の水道蛇口（1ヶ所）に節水シーンを貼付け、啓発を計っています。



3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱：2013年 7月設置)

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また両面コピーを実施しています。



(2) 産業廃棄物



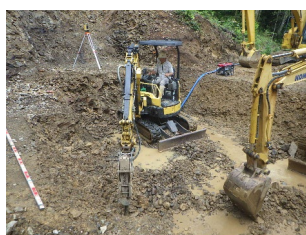
産業廃棄物分別の徹底

(分別置場：2013年4月設置)

産業廃棄物は分別し、有価物と廃棄物に分別し。産業廃棄物再資源化率が向上するように工事現場では努力しています。



4. 環境負荷の少ない工事実施



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称：仁井田谷川 通常砂防工事

工事期間：2023年8月9日 ～

工事場所：高知県高岡郡

低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。





環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用

工事名称：仁井田谷川 通常砂防工事

工事期間：2023年8月9日 ～

工事場所：高知県高岡郡

工所用材料の、基礎碎石はリサイクル材を使用し、環境負荷低減に努めました。



環境負荷の少ない材料（県内産資材）の使用

工事名称：仁井田谷川 通常砂防工事

工事期間：2023年8月9日 ～

工事場所：高知県高岡郡

木製型枠は高知県内産資材を使用し環境負荷低減に努めました。



木製バリケードの高知県産間伐材の使用

工事名称：仁井田谷川 通常砂防工事

工事期間：2023年8月9日 ～

工事場所：高知県高岡郡

木製バリケードは、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



油流出対策で発電機下に吸着マット使用

工事名称：仁井田谷川 通常砂防工事

工事期間：2023年8月9日 ～

工事場所：高知県高岡郡

発電機下に油流出対策で吸着マットを使用し環境負荷低減に努めました。



5. 環境美化活動



清掃ボランティア活動

四万十川一斉清掃に参加しました。



清掃ボランティア活動

88ウォークへ参加し道路の清掃活動を行いました。
(8月8日)



10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準値	2024年度 目標 2024.7-2025.6
売上高		百万円	64.6	70
燃料使用量			21,371.2	
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,263.6	
	原単位	(ℓ/百万円)	112.4	112.4
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,954.0	
	原単位	52025	216.0	216.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	153.6	
	原単位	(ℓ/百万円)	2.4	2.4
電力使用量	総量	(kWh)	3,497.3	
	原単位	(kWh/百万円)	54.1	54.1
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	54,991.5	
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	851.3	851.3
用水使用量	総量	(m ³)	265.6	
	原単位	(m ³ /百万円)	4.1	4.1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	50.0	
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	96.8	
	原単位	(t/百万円)	1.5	1.5
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89.0	100.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5回	5回

*1. 基準値は過去の実績値から百万円当りの原単位を出して、売上高をかけて使用量を設定した。

ガソリン使用量の基準値は7年平均を使用した。

*2. 電力のCO₂排出量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2021年度実績)(令和5年1月24日公表)の(四国電力の調整後排出係数(0.532kg-CO₂/kWh))を使用した。

*3. 環境負荷の少ない工事

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○油流出対策で発電機下に吸着マット使用

○濁水防止対策の実施

○環境負荷の少ない材料を使用

○工事中の騒音・粉塵対策の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	基準値	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	64.6	70	70	70
燃料使用量			21,371.2	基準値の10%以内を目標		
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,263.6			
	原単位	(ℓ/百万円)	112.4	112.4	112.4	112.4
軽油使用量	総量	(ℓ)	13,954.0			
	原単位	(ℓ/百万円)	216.0	216.0	216.0	216.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	153.6			
	原単位	(ℓ/百万円)	2.4	2.4	2.4	2.4
電力使用量	総量	(kWh)	3,497.3			
	原単位	(kWh/百万円)	54.1	54.1	54.1	54.1
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	54,991.5			
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	851.3	851.3	851.3	851.3
用水使用量	総量	(m ³)	265.6			
	原単位	(m ³ /百万円)	4.1	4.1	4.1	4.1
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	50.0			
	原単位	(kg/百万円)	0.8	0.8	0.8	0.8
産業廃棄物排出量	総量	(t)	96.8			
	原単位	(t/百万円)	1.5	1.5	1.5	1.5
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	89.0	100.0	100.0	100.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
環境美化活動	総量	(回)	5回	5回	5回	5回

10. 次年度の取組内容
(2) 環境経営計画

期間： 2024年 7月 ～ 2025年 6月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量	○タイヤの空気圧チェックを定期的に行う	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
	削減	○過積載をせず、荷台に余計な荷物は載せない	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		○現場と倉庫に無駄な往復をしない 極力乗り合わせで移動する	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		○夏場の現場見回りはバイクで移動する	正岡	2025年6月
		○車のエコドライブの励行（急発進・急停止の禁止、アイドリングストップ）	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		○重機を7回回さない、重機類のアイドリングストップ	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		○適切な工程管理により、工期短縮を目指す	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		○施工効率の良い資材を選択する	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		電力使用量	○昼休み、退出時の消灯	小野 正岡
	削減	○エアコンの定期的な清掃	小野 正岡	2025年6月
		○エアコンの安堵管理（夏場28℃ 冬場20℃推奨）	小野 正岡	2025年6月
		○蓄電池を利用して充電等行う	正岡	2025年6月
		用水使用量削減（排水量削減）	○こまめな止水を行う	小野 正岡 佐竹 小原 福井
		○雨水タンクを設置する	正岡	2025年6月
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの削減（文章・計算の見直し等）	小野 正岡	2025年6月
		○ミスプリント・使用済み封筒の裏面使用	小野 正岡	2025年6月
		○現場でのゴミの持帰りと分別の徹底	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		○ペットボトルのキャップを集め、回収ボックスへ	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
	産業廃棄物	○廃棄物の分別の徹底	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
		○ manifests 伝票による管理	小野 正岡	2025年6月
		○再資源化業者に委託する	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月
環境負荷の少ない工事	○低騒音、排出ガス対策型機械の使用	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
	○汚濁防止対策の実施	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
	○工事中の騒音、粉塵対策をする	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
	○油流出対策で発電機下に吸着マット使用	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
	○環境負荷の少ない材料を使用	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
環境美化活動	○倉庫周辺の町道の清掃（年5回以上）	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
	○現場周辺の町道の清掃（現場毎）	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
	○88の会への参加	小野 正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	
	○四万十川一斉清掃への参加	正岡 佐竹 小原 福井	2025年6月	

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	正岡	遵守	工事毎
	第7条の13項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	正岡	遵守	工事毎
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	正岡	遵守	工事毎
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	正岡	遵守	工事毎
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	正岡	遵守	工事毎
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 (縦60cm以上×横60cm以上)	必要時	正岡	遵守	工事毎
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	正岡	遵守	工事毎
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	正岡	遵守	工事毎
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	正岡	——	工事毎
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	正岡	——	工事毎
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに市町村長に届出)	必要時	正岡	——	工事毎

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

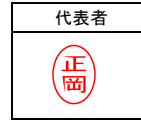
2023年 7月より 2024年 6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

環境関連法規等の取りまとめ表 (条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	正岡	遵守	工事毎
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	正岡	遵守	工事毎
四万十町環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	正岡	遵守	工事毎
高知県四万十川の保全及び 流域の振興に関する基本条例		○四万十川流域の生態系及び景観の保全	必要時	正岡	遵守	工事毎
四万十町四万十川の保全と 振興に関する基本条例		○四万十川の水環境、景観及び生態系の保全	必要時	正岡	遵守	工事毎

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年 7月より 2024年 6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。



代表者による全体評価と見直しの結果

- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありません。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 ありません。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 ありません。 <改善提案>				【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無 自然豊かな四万十川流域で事業活動を行い、後世にこの自然を残すため、環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動計画に沿って、活動を継続していく。	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： □有 ■無 燃料使用量は自社工事はロス無く回転し達成したのと外注し 電力使用量は夏場エアコンの他扇風機を併用、冬場はストーブを使用し達成した。 用水使用量は目標値を達成した。 廃棄物排出量(建設リサイクル)は、コンクリート、アスファルト、木材をリサイクルできた。 廃棄物再資源化率は、コンクリート、アスファルト、木材を100%リサイクルできた。 今年度も大型土のうの処分がなかったため100%の数値になった。 環境に配慮した工事では、低騒音・排ガス対策型の重機で施工を行った。 油流出対策で発電機下にオイル吸着マットを使用した また、県内産資材や木材パレットを使用しCO2排出量削減に努めた。 今後も社員一同で目標が達成できるように努力すること。 エコドライブの徹底をすること。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	【その他】 変更の必要性： □有 ■無 エコアクション21は環境経営システムとして有効に機能しています。	
燃料(ガソリン)の削減	○	○	売上高にあった活動と外注した為		
燃料(軽油)の削減	○	○	施工が順調に完了したのと外注した為		
電力の削減	○	○	エアコンの温度管理と扇風機、ストーブ併用		
CO2排出量	○	○	施工が順調に完了した件数が多い為		
用水の削減	○	○	使用量は例年通り		
廃棄物排出量の削減	×	○	建設リサイクルで100%を目指す		
廃棄物資源化率	○	○	廃プラ処分がなかった為、達成		
環境に配慮した工事	○	○	排出ガス対策型重機の使用、汚濁防止措置を行った		
<改善提案>					
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 苦情はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 ありません。 <改善提案>				【総括】 (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載) 今後も環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、環境経営システムは現状維持を保つ。 売上高に変動のある業種なので、過去7年原単位を使用し、環境負荷の現状維持、低減に努める。 今年度計画が達成できなかった項目は次年度努力する。 環境にも経営にもメリットがあるので、引き続き社員一丸で取り組む。	
代表者が自ら得た情報 今期も実績値は過去の実績から売上高百万円当りの原単位を算出した。 砂防工事においてICT測量を行ったり、県内産資材が町内もしくは近隣町外から調達できることから環境負荷の低減につながった。外注工事が数件あったので基準値と売上高から見ると燃料使用量が少ない数値となっている。					

13. その他の取組

1. 自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2013年
		2016年
		2019年 }
		2024年
高知県森と緑の会	森林や緑化環境の整備事業とその普及啓発事業	2013年
		2015年 }
		2024年

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
法人会の一斉清掃	2014年
四万十川一斉清掃	2013年 }
	2019年
	2021年 }
	2024年

3. 環境美化活動

支援活動	実施年月
ロードボランティア（協会女性部）	年10回
土木の日の清掃活動	11月18日
現場周辺の清掃活動	5回以上

